

めぐみ厚生センター センターだより

第 324 号

発行 2011年7月15日

佐賀市緑小路1-3

社会福祉法人めぐみ厚生センター

めぐみ園 0952(34)7722

どりいむ 0952(34)7727

E-mail s-megumi@basil.ocn.ne.jp

富士学園 0952(63)0107

ウイズ富士 0952(51)0063

E-mail fuji-g@b2.bunbun.ne.jp

発行者 栗林恵一
印刷所 (株)古川総合印刷ホームページURL <http://www.megumikousei-center.org/>

三月十一日午後二時四十六分、宮城県沖、深さ二〇kmでM九・〇の巨大地震が発生しました。（東日本大震災）新聞報道によりますと、異変はその二日前、宮城県沖で起きたM七・三の地震から始まっていたとのことです。

国内観測史上最大となる大地震は想像を絶する大津波を引き起こし、太平洋沿岸の街々、漁村、村々を瞬く間に飲み込みました。壊滅的な被害を与え、目を覆うような未曾有の大惨事となっています。

私事ですが、学校を出て間もない昭和四十二年頃、当時勤務していた会社の東京本社より岩手県の盛岡営業所に転勤になり、二年余りを東北の地で過ごしました。営業の仕事をしており、担当のテリトリーは北上、水沢、そして今回の被災地、大船渡、陸前高田とその周辺の町や村でした。三陸のリアス式海岸沿いに広がる美しい光景は、今でも目に浮かびます。それが今回の深刻な被害状況・報道等で日にする度、心が痛むばかりです。

当時私はまだ仕事にも慣れず、土地柄にも慣れず、精神的にも悩みを抱え、

非常に苦しい時期でした。そんな中、まるで実子のように大事にして頂いた岩手のお得意先には今でも感謝の念でいっぱいです。そこには東北人特有の深い優しさ、温かさ、人情の世界がありました。近々ぜひともお見舞いにかけたいと思つております。

さて、私達はこの大震災をどう捉えたらしいのでしょうか。これから私達はどう生きていけばよいのでしょうか。今は盛んに全国の自治体や各種団体、それに各企業や個人からの救援の手が差し伸べられています。更には米国をはじめとした諸外国、それも最貧困といわれる小さな国々からも温かい援助が届けられています。今まで大災害の度に日本から送られた義援金や救援物資に対するお礼ということもあるようです。世界が心を一つに助け合うことの大切さ、支えあうことの重要さを教えてくれているような気がします。

最後に、これから日本は、私達ひとりが自分のできる範囲で物資等の支援を続けていき、応援し、勇気づけて大震災の復旧をしていかなくてはなりません。たとえできなくても、せめて気持ちだけでも。息長く助け合い支えあって：復興そして新しい日本を創生する覚悟でいかなければならぬと思います。この悲劇を日本再生の転機と認識し、東日本も西日本も心を一つに手を携えていくべきでしよう。

東日本大震災を転機に

手塚登公認会計士事務所

公認会計士 手塚 登



有難いことだと気づかせてくれ、同時に私達の生き様についても、果たして震災前と同じでよいのか：原発の問題も含め、一人ひとりがこの根本的な課題に向き合うための大変なメッセージになつたことも改めて真剣に考えなければならないと思います。

また、この大震災で世界を驚嘆させたのは東北の人々の周囲を思いやる節度ある姿勢でした。諸外国で大災害の発生時に見る光景は暴動略奪の姿です。この深い悲しみの中、東北の人々のこのような自制心をわすれず、取り乱すことなく助け合う秩序ある行動は称賛に値するものです。私達は豊かになるとともに、ともすると家庭の絆、国との絆が乱れ、個人主義がはびこって、ますます無縁社会が到来し始めていました。この大きな災害によって、その絆の大ささを思い知られ、所詮人間は一人では生きられないことを教えられたのだと思います。

ひとりが自分のできる範囲で物資等の支援を続けていき、応援し、勇気づけて大震災の復旧をしていかなくてはなりません。たとえできなくても、せめて気持ちだけでも。息長く助け合い支えあって：復興そして新しい日本を創生する覚悟でいかなければならぬと思います。この悲劇を日本再生の転機と認識し、東日本も西日本も心を一つに手を携えていくべきでしよう。



五月二十一日（土）八名の利用者が招待を受け、鳥栖のベストアメニティスタジアムで、対コンサドーレ札幌とのゲームを観戦してきました。

鳥栖までの外出とあって、長い移動時間の間にお店に立ち寄り、昼食用のパンやお弁当、飲み物等各自好みの物を選んで買った後、周りの景色を楽しみながらスタジアムを目指しました。

試合はサガン鳥栖が押し気味にゲームを進め、1対0で見事勝利し勝ち点3を得ることが出来ました。私達にわかサポーターも多くのサガン鳥栖サポーターの方達と一緒にスタジアムの雰囲気に溶け込むように、拍手や歓声のタイミングを合わせながらプロの迫力を目の前で堪能することが出来ました。招待してくださった方、会場で御世話をしてくれた方々に感謝いたします。

（Mrめぐみ園）

頑張れ！サガン鳥栖



五月三十日、恵友会会員（二十九名）と利用者五名でからつ学園の施設見学に行きました。

職員の方と話す時間があり、いろいろな事を聞かせてもらいましたがどこかの施設も悩みは同じ様子で日々頭を悩ませているとのことでした。

そして以前めぐみ園で一緒に生活をされていた方がおられ、笑顔で握手を交わしておられました。

その後は「海舟」にて昼食をとり、皆さんとても和やかな雰囲気で話もはずみ、目の前に広がる玄界灘の海を眺めては「きれいかねー」と言われていました。

（胡桃）



五月三十日、恵友会会員（二十九名）と利用者五名でからつ学園の施設見学に行きました。

職員の方と話す時間があり、いろいろな事を聞かせてもらいましたがどこかの施設も悩みは同じ様子で日々頭を悩ませているとのことでした。

恵友会研修会にて

☆颶爽とソーラン隊☆



六月十日、プレーーデーを予定されていましたがあいにくの雨模様で中止になりました。ソーラン隊の踊りを創作活動室にて来園されていた家族の皆さんにご披露することになりました。

この日の為に約2週間前より練習を積んできました。今回は「ソーラン節」と「キヨシのズンドコ節」に、「面浮立」を加え、身体に太鼓を紐で付け、手にはバチを持って力強く踊り、皆さんより大きな拍手をもらいビシッと決まって大満足！

これからも、美味しい物を食べられるように一本一本の歯を大切に、皆さんしっかりと磨いていきましょう。

（マザー☆）



歯☆健康チェック☆

六月十三日、創作活動室にて歯科健診が行われ、栗林恵一先生より、利用者一人ひとり丁寧に歯をみて頂きました。



(田中@K&のろすけ)

月から、スタッフのストレス解消法をシリーズ企画で取り上げる。一発
かもつちグッジョブ!! (田中@K)

**
（かもつち）

洗い物さえしなくていいならば料理を作ることはストレス解消法になるのかなと思った。大切な人にグラタンを作つてあげるととても好評だった。たぶん自分自身のために手の込んだ料理はしない。おそらく食べてくれる誰かのために料理を作り、それを美味しさうに食べているのを横で見ることがストレス解消になつていていたのだと思う。ロールキャベツをリクエストされていて今度の休みに作つて食べていただこうと思う。

ま珍も園ん利 ばかの はそ館をや 催フ恒
いのブー・用富し一張し見のこ考天また
まニレ体ど多者士で気りか事甲開慮候た、ま仕行二
た時!とりくス学くにのしに斐催しにした
たが、間続ないの夕園れジであ雨あをて左今た。
が出来りむごツ・まメるす天つ計屋右年
過か家フウレジ て画内さは
ぎあ好ら族はイタメ “S涙か
云つづの・もズを宣・こ? ふな技
うとレ参めち富 吹誓T?
てい! 加ぐろ士 き! さん
しう・者み 飛”
当日
の内容



シリーズ第一弾
このストレス社会で
うまくやつていくには

行くこと 旅行に
がストレス解消になるのか
なと思つたが、そ
の先々で他人とお
金に気を

遣うので余計にストレスが溜まると思つたので旅行は好きだがストレス解消法ではないと思つた。



毎年恒例のお茶摘み(五月十六日)ボランティアの方々・富士学園・ウィズ富士の皆さんで新茶の摘み取りを行いました。当時は夏の様な暑さの中、ごりがとうございました。

美味しい新茶

ウイズ富士

ふれあい

感謝観劇！～人形劇「アラジン」公演～



六月四日、日産労連N.P.O.によるチャラバン公演が行われました。演目は「アラジン」の人物劇でした。富士学園のふれあい館に、人形劇の舞台装置が組まれ、アラビアの雰囲気満点。日頃はなかなか見ることのない人形劇の舞台に、みなさん見入つておられました。劇中に「ヘビ叩きゲーム」があり、そちらも利用者の方が参加され、笑顔があふれていました。ストレスの発散には非日常体験をすることが、とても効果的だそうです。公演後にはみなさん晴れ晴れとした表情をされました。（田中@R）

聖句

あなたがたに耳を傾ける者はわたしに耳を傾け、あなたがたを拒む者は、わたしを拒むのである。わたしを拒む者は、わたしを遣わされた方を拒むのである。

（ルカによる福音書 十章十六）

日頃の感謝を込めて・・☆

六月五日から

六月八日にかけて、花の日訪問を行いました。

栗林理事長宅

をはじめ日頃お世話になつてい

る病院や理容・

美容室、東与賀

支所、派出所な

ど十四カ所に伺い日頃の感謝ち

を伝えました。

持参物は、花と園で採れた農作物を、

利用者のみなさんが絵を描いた紙袋に

入れて渡しました。

これからもよろしくお願ひします。

（キヨンジヤ）



これからも
よろしく
お願いします



有難うございます

皆様ありがとうございました (五・六月分)

●法人へ

栗林久美子様より

栗林恵一様より

川崎俊朗様より

新栄ボランティア

八谷様より

◎めぐみ園へ

タオル・雑巾を多数寄付

●佐賀県老人クラブ連合会様より

タオル・ハンカチ・日用雑貨多量寄贈

●株式会社ダイブ様より、

佐賀県社協を通じ

ヤフードームへ十七名招待

- 佐賀県老人クラブ連合会様より
- タオル・ハンカチ・日用雑貨多量寄贈
- 株式会社ダイブ様より、
- 佐賀県社協を通じ
- タオル・雑巾を多数寄付

何でもコーナー

この何でもコーナーで何を書けばいいか戦苦闘していた時のことです。七月号という事で、テーマを熱中症に絞り、一応原稿を書き終え帰ろうと外出したら、桜の木の所に黄緑色の小さな光が宙に浮いているのを見つけてしまいました。「うわっ、何？ 気持ち悪い」と思いつつも近づいてよく見てみると、何と蛍。

まさかこんな近い所で、人生初の蛍を見ることが出来るなんて、予想外の出来事でした。そんな感動を味わった翌日は、何故か寝不足になりましたが、自然つて素晴らしいなと改めて思いました。

因みに、熱中症にならない為に気を付けたいことは、喉が渴く前、暑い所に出て前からこまめに水分補給を行うことが大事だそうです。（フツジー）

あとがき

この夏、更なる節電を目指して努力する気持ちはありませんが…。

山の事務所は、熱源が多く南国のように暑い。涼やかな風が早く降りそそいでほしいものです。体調管理に気をつけて夏を乗りきりましょう。

（ユズリー）

- 佐賀学園へ
- タオル・ハンカチ・日用雑貨多量寄贈
- 株式会社ダイブ様より、
- 佐賀県社協を通じ
- タオル・雑巾を多数寄付

◎案内

「交歓の夕べ」

富士学園・ウイズ富士

日時：七月三十日（土）

十七時～二十時

場所：富士学園広場

「ふれあい夏祭り」

めぐみ園

日時：八月四日（木）

十八時～二十時

場所：めぐみ園運動場

皆様お誘い合わせの上、是非、
ご来場ください。